

drax

持続可能性  
フレームワーク

POSITIVE  
ACTION



# POSITIVE ACTION

## 目次

はじめに .....	3
持続可能性フレームワーク .....	4
クライメート ポジティブ .....	5
ネイチャーポジティブ .....	7
ピープルポジティブ .....	9
今こそポジティブアクションを .....	11

# POSITIVE ACTION



**Miguel Veiga-Pestana**

最高サステナビリティ責任者  
- Draxグループ

Draxの使命は、世界で増大する安全なエネルギーへの需要を、持続可能な形で満たすお手伝いをすることです。

当社にとって、持続可能性は単なる文字ではなく、アクションです。一貫した、不断のアクションこそ、気候、自然、人々にメリットをもたらします。

当社の持続可能性フレームワークは、社会を脱炭素化するために、自然を保護し、さらに良いものにするために、そしてともに働く人々をサポートするために当社がどう行動するかを定めたものです。

しかしこれは私たち単独でできることではありません。真にポジティブなアクションは、傾聴する姿勢と学ぶ決意があってこそ可能になります。Draxのフレームワークは、正しい道を確実に歩むことを目標に、当社の過去の成功と挫折を振り返り、批判に耳を傾け、専門家と関わってきた結果です。

このフレームワークでは、期限付きの26個の目標が、3本の柱にグループ化されています。

- |   |                     |                                                  |
|---|---------------------|--------------------------------------------------|
| ① | <b>クライメート ポジティブ</b> | 2040年末までに当社のバリューチェーン全体でネットゼロを達成する。               |
| ② | <b>ネイチャーポジティブ</b>   | 2030年末までに当社の拠点やバリューチェーン全体で生物多様性の保全・再生の強化を実現する。   |
| ③ | <b>ピープルポジティブ</b>    | 当社の従業員、地域社会、およびサプライチェーン内で働く人々の人生や暮らしに貢献することを目指す。 |

これは私たちのロードマップであり、計画、プロセス、運営の透明性を実証しながら、有意義なマイルストーンに確実に到達するという野心を込められています。

当然ながら、実現は容易ではないでしょう。しかし私たちにはその役割を果たす用意があります。

**ポジティブアクションを実行しましょう。**

# 持続可能性フレームワーク

## CLIMATE POSITIVE

- > 当社のバリューチェーン全体で2040年末までにネットゼロを達成します。
- > 厳格な科学に基づくアプローチを用いて、2026年までにすべての主要なバイオマス原料調達地域における森林炭素蓄積量に関する証拠を提供します。
- > 気候変動の緩和と適応に積極的に貢献し、2030年末までに地球規模の気候危機への対処をさらに強化します。

## NATURE POSITIVE

- > 2030年末までに当社の事業全体で危険性を緩和し、循環的な資源利用を促進します。
- > 2030年末までに当社の拠点すべてで生物多様性の強化を実現します。
- > 当社のバリューチェーンにおいて生物多様性と生態系の回復力をサポートし、2030年末までに回復と保全に関する測定可能な成果が得られるよう貢献します。

## PEOPLE POSITIVE

- > 公正で安全で多様性を認める職場を構築し続けます。
- > 「国連グローバルコンパクト」や「先住民族の権利に関する宣言」が定める権利を含め、基本的人権や労働者の権利を保護すべくサプライチェーンと協力を続けます。
- > 周囲の地域社会と連携しながら、人々の生活や暮らしに「良い」貢献ができるよう努めます。

### 持続可能なバイオマス

私たちは、厳密なコンプライアンス、トレーサビリティ、第三者機関による認証基準を追求しながら、気候、自然、人々に良い結果をもたらすバイオマス調達に尽力しています。

# CLIMATE POSITI>E

これからの10年、世界の電力需要は急速に増大することでしょう。AI、データセンター、電気自動車、ヒートポンプ、エアコンの急速な発展により、電力需要がかつてないほど加速すると予想されています。同時に、炭素排出量を半減させる必要もあります。進歩を促し、地球を大切にしながら、明かりを灯し続けるにはどうすればよいでしょうか。

Draxはすでに、こうした課題の解決に向けて大きな一歩を踏み出しており、当社の発電所の燃料は、石炭からバイオマスに転換されています。今やバイオマスは英国の電力網にとって重要な再生可能電源です。しかし、道はまだまだこれからです。

当社の目標は排出量を削減するだけでなく、気候にネットポジティブ（正味プラス）の影響を与えることです。私たちは、以下の3つの行動領域を通じて、この目標の実現を目指します。

## 排出量をネットゼロに

まず、当社のバリューチェーン全体で排出量を最小化して、スコープ1、2でネットゼロを達成し、2040年末までにスコープ3での達成を目指します。これらを達成するにはバイオマスへの転換だけでは不十分で、可能な限りクリーン<sup>1</sup>な事業運営を維持することも必要です。当社はすでにこの部分で大きな進展を遂げており、2020年以来、グループのサプライチェーン全体で排出量を27%削減しています。しかし、これ以上の削減となると簡単ではありません。最大の難関は輸送とペレット化です。当社は風力を活用した海上輸送の試みに投資したり、ペレット工場での再生可能エネルギー源の使用をテストするなど、両方の点で前進しています。

## 十分に管理された<sup>2</sup>森林や他の責任あるソースからのみバイオマスを調達

当社は、厳密なコンプライアンス、トレーサビリティ、第三者機関による認証基準を追求しながら、気候、自然、人々に良い結果をもたらすバイオマス調達に尽力しています。

当社のバイオマス調達ポリシー全文については、[drax.com/biomass-sourcing-policy](https://drax.com/biomass-sourcing-policy)をご覧ください。

## 永久的に炭素を除去

3つ目として、当社は引き続き独自の炭素除去プロジェクトを通じて、大気から永久的に炭素を除去する方法の構築と評価を行っていきます。これを加速するため、当社は炭素除去の規模拡大を目標と「Elimini」という事業部門を新たに立ち上げました。

<sup>1</sup> クリーンエネルギーとは、使用時に温室効果ガスをほぼ、または全く生じさせないエネルギーのことです。  
[ソース](#)

<sup>2</sup> 十分に管理された森林とは、森林製品に対する社会の需要と、次世代のために森林の健全性を維持するための保全戦略によるメリットとのバランスが取れている森林のことです。



# CLIMATE POSITIVE

## コミットメント

> 当社のバリューチェーン全体で2040年末までにネットゼロを達成します。

> 厳格な科学に基づくアプローチを用いて、2026年末までにすべての主要なバイオマス原料調達地域における森林炭素蓄積量に関する証拠を提供します。

> 気候変動の緩和と適応に積極的に貢献し、2030年末までに地球規模の気候危機への対処を強化します。

## 目標

C1

スコープ1、2、3をカバーするSBTiの短期目標を2030年までにすべて達成します。さらに、ネットゼロ目標を2040年までに達成することを目指します。これについては現在、SBTiと積極的にレビューを行っています。

C2

当社のバイオ燃料CO<sub>2</sub>回収貯留 (BECCS) 施設およびペレット工場の熱を効率的に回収・統合し、現地に需要がある場合は熱を製品として利用する方法を模索します。

C3

原料調達から利用に至るまでの包括的な炭素ライフサイクル分析 (LCA) を実施し、カーボンフットプリントのベースラインを設定して、当社施設の潜在的な改善点を特定します。

C4

2026年末までに、すべての主要調達地域における森林炭素蓄積量を評価し、最先端の科学に基づくアプローチを用いてその動向を監視します。

C5

バイオマス需要が調達地域の炭素蓄積に与える影響を評価するため、当社を中心とした専門家による審査を経た確固たる森林炭素評価手法を2025年末までに開発し、試験的に導入します。

C6

当社のペレット工場や将来のBECCS施設に材料を供給する全調達地域において、引き続き森林の炭素リスクと回復に関する包括的な評価を実施していきます。

C7

引き続き独自の炭素除去プロジェクトを通じて大気から永久的に炭素を除去する方法の構築と評価を行っていきます。

C8

2027年末までに気候適応計画を発行し、実施します。

# NATURE POSITI>E

私たちが事業を展開している地域は、豊かで個性的な生物多様性の宝庫です。拠点の周囲の土地には何百もの種が棲息しているほか、バイオマス調達する森林も同様に、生命に満ちあふれています。

自然への負の影響を回避し、防止することは極めて重要であり、当社の重点分野であり続けます。しかし、私たちの道のりはまだ始まったばかりです。私たちは、当社の全拠点を巻き込む自然を保護することを目指すだけでなく、さらに良くしていくための行動をお約束します。

## 負の影響を回避する

第一に、当社では環境への負の影響を避けるために今すぐできる措置を講じています。コンプライアンスをすべての行動の基礎としながら、学びの深まりにつれアプローチを進化させています。2022年以降、当社はすでに排気の改善を含むペレット工場の改修に1億3000万ドルもの投資をしてきました。2026年末までに、空気の質を監視・管理し、水質への影響を改善する方法について示した計画を公開する予定です。さらに当社は、森林資源の減少、劣化、転換を引き起こさないようパートナーやサプライヤーと協働し、最先端の技術を活用して監視しながら、2026年末までに進捗について報告する予定です。

## ポジティブな影響をもたらす

第二に、当社はポジティブな影響をもたらすべく、戦略的に行動しています。2030年までに当社の拠点すべてで生物多様性の強化を実現し、当社のバリューチェーン内の生物多様性をサポートし、生態系の回復を図るべく行動します。このことは、当社の拠点と調達エリア全体において、自然に対する科学ベースの目標と行動計画により測定され、証明され、裏付けられることになります。



# NATURE POSITIVE

## コミットメント

> 2030年末までに当社の事業全体で有害性を緩和し、循環的な資源利用を促進します。

> 2030年末までに当社の拠点すべてで生物多様性の強化を実現します。

> 当社のバリューチェーンにおいて生物多様性と生態系の回復をサポートし、2030年末までに回復と保全に関する測定可能な成果が得られるよう貢献します。

## 目標

N1

循環型バイオ経済に特に焦点を当てながら、Draxにおけるサーキュラーエコノミーの原則を導入する機会に関するホワイトペーパーを2025年末までに発行します。

N2

大気質を管理するための包括的な計画を2025年末までに構築します。

N3

水効率の改善、水消費量の削減、責任ある水資源管理 (water stewardship) の向上の機会を見出しながら、2026年末までにグループの水戦略を策定します。

\*責任ある水資源管理には、水質、水量、水へのアクセス、衛生管理が含まれます。

N4

2026年末までに、環境インシデント頻度率 (EIFR) に関する報告書を作成し、公開します。

N5

2030年末までに、世界中のすべての新規開発において正味プラスの生物多様性を実現します。

N6

2030年末までに、所有するすべての拠点（または関連拠点）においてネイチャーポジティブアクション計画を実施し、生物多様性の強化を実現します。

N7

2026年末までに、自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) に則した当社初の報告書を公開します。

N8

2027年末までに、SBTN (科学ベースの目標ネットワーク) に則した自然に関する目標を策定します。

N9

2030年末までに、バイオマス調達優先地域に向け、TNFDガイダンスに沿ったネイチャーポジティブアクション計画を策定します。

N10

当社のサプライヤーや他のパートナーと協働しながら、森林資源の減少、劣化、転換を引き起こさない\*ようにするための取り組みを行います。2026年末までに最先端技術を駆使してエビデンスの確認スキームを整備し、進捗について報告します。

\*国際連合食料農業機関と適用法による定義を引用しています。

# PEOPLE POSITIVE

エネルギー転換は、すべての人々にとってメリットになり得る、  
またそうであるべきと当社は確信しています。  
また、機会を創出する事と敬意を払うことが何よりも大切であると信じています。

## 多様性を認める職場の構築

第一に、私たちは共に働く人々のために行動し、公正で安全で多様性を認める職場を構築しています。つまり、働く人々の健康と安全を優先し、地域社会にとって良い手本となる職場を構築し、従業員エンゲージメントの業界基準を上回ることを目指します。

## 基本的人権の推進

第二に、私たちはサプライチェーン全体で人権と労働権を守るために行動しています。その一環として当社では、「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」の概念をさらに進めた「先住民に関するポリシー」を策定しました。

## 地域社会との連携

最後に、私たちはDraxの各拠点を巻き込む地域社会の生活や暮らしを目に見える形で改善することを目指しています。これには、各拠点での雇用の提供に留まらず、社会的な投資、連携、教育、長期的な支援が必要となります。

2023年から2024年にかけて、当社は非営利団体や地域社会を良くするプロジェクトに630万ポンドの寄付を行ったほか、当社のコミュニティ支援プログラムも成長を続けています。また、恵まれない地域においてもっと多くの人が科学、技術、工学、数学 (STEM) 教育やグリーンスキル習得機会にアクセスしやすくなるよう、Drax基金を通じて支援を行っています。さらに、当社が事業を展開している地域社会全体で「コミュニティエンゲージメントプラン」を実施しています。

# PEOPLE POSITIVE

## コミットメント

> 公正で安全で多様性を認める職場を構築し続けます。

> 「国連グローバルコンパクト」や「先住民族の権利に関する宣言」の原則を含め、基本的人権や労働者の権利を保護すべくサプライチェーンと協力を続けます。

> 私たちは周囲の地域社会と連携しながら、人々の生活や暮らしに貢献できるよう努めます。

## 目標

**P1** 当社で働く人々の健康と安全を優先し続けます。

**P2** 合意された公約や目標を達成することにより、Draxが事業を展開する地域社会の手本となるよう努めます。

**P3** 従業員アンケートにおいて、従業員エンゲージメントやウェルビーイングが業界基準を上回ることを目指します。

**P4** 2026年末までに、よりリスクの高いサプライチェーンの透明性を強化するため、当社と関わりのあるサードパーティのオンボーディング体験を向上させ、システムと関連データを最適化します。

**P5** 2026年末までに、当社のサプライチェーン全体で「責任ある調達戦略」をまとめます。これには、新しい事業機会の評価に社会的配慮をどのように組み込むかが含まれます。

**P6** 主にDrax基金やコミュニティ基金を通じた投資により、周囲の地域社会への支援を継続していきます。

**P7** 2030年末までに、Draxが事業を展開している地域の恵まれないコミュニティにいる人々がSTEM教育やグリーンスキル習得機会にアクセスしやすくなるよう支援することで、「Just Transition (公正な移行)」に貢献します。

**P8** 2027年末までに、Draxが資産を所有・運用している各地域社会で、コンサルティングや情報に基づく参加プロセスを含め、「コミュニティエンゲージメントプラン」を実施します。

これまで挙げてきた公約は野心的なものですが、不可能ではありません。当社はこれらの実現に向けて取り組む用意があり、明確性と透明性をもって進捗状況を報告していきます。私たちは、世界が求める安全で再生可能なエネルギーの提供の一翼を担う取り組みに誇りを感じています。

今こそ

**POSITIVE**  
**ACTION**

当社の持続可能性フレームワークと進捗についてはこちら：

[drax.com/positive-action](https://drax.com/positive-action)



不断のアクション

気候、自然、人にとって  
ポジティブな結果を  
もたらすために

 [/draxgroup](#)

 [/company/drax-group](#)

[drax.com/positive-action](https://drax.com/positive-action)

POSITIVE ACTION